

事務事業名 交通安全施設整備事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：499

施策：	23	交通環境の総合的な整備と充実	財務コード	01070201-03-417
基本事業：	02	道路の維持管理	担当部	建設部
基本事業の成果指標	道路管理上の瑕疵による事故件数 道路橋健全率		担当課	土木課
			担当係	土木整備担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市が管理する道路			市民や地域からの要望や日常的な道路等の点検状況に基づき、国の交付金（交通安全対策特別交付金）を活用しながら、必要性が高い箇所へ交通安全施設（ガードレール、カーブミラー、白線等）を整備し、市が管理する道路の適切な維持管理と交通安全対策を推進する						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
必要性が高い交通安全施設（ガードレール、カーブミラー、白線等）を適切に整備し、交通安全対策を推進していく。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
交通安全施設整備工事件数（新規）		件	42	36	46	46			
交通安全施設整備工事件数（更新）		件	45	57	73	73			
5. コスト									
事業費		計	千円	22,316	24,757	31,500	29,804		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他 一般	千円	0	0	0	0		
正職員人工数		人工	0.8	0.4	0.4				
正職員人件費		千円	6,252	3,209	3,352				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	28,568	27,966	34,852	29,804			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている		令和6年度は、施設の新規工事を36件、更新工事を57件行った。							
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
国の交通安全対策特別交付金を活用した交通安全施設の整備を行う事業として事業を開始。交付金は、昭和43年に道路交通法の改正により創設された交通反則通告制度に基づき納付される反則金収入を原資として、地方公共団体が単独で行う道路交通安全施設整備の財源として交付されている。					備考・特記事項 or 進行管理欄				